

大会名 Competition	第27回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-113	Year Month Day Time 2014 年 5 月 5 日 12 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA 能代工	15 1st 14 22 2nd 19 15 3rd 15 23 4th 10 OT	チームB 新潟商
75 ○		58 ●

主審:Referee 藤垣 庸二 宮城
副審:Umpire 伊藤 亮介 東京
大川 修平 山形
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高校男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	長谷川	暢 CAP	25	0	11	3	3	4	×	田中	功平 CAP	9	1	2	2	3
5	×	荒木	直	16	0	8	0	4	5	×	原	健太郎	14	2	4	0	1
6	×	中村	碧杜	6	0	3	0	1	6	×	渡邊	大我	16	1	5	3	0
7		渡邊	竜也	-	-	-	-	0	7		渡邊	拓磨	-	-	-	-	0
8		猪狩	渉	-	-	-	-	0	8	/	飛田野	翔太	2	0	1	0	1
9	×	小室	望海	7	1	2	0	1	9	×	渡邊	浩平	5	0	2	1	0
10	/	斉藤	大輔	0	0	0	0	1	10		五十嵐	隆太	-	-	-	-	0
11	/	金久保	翔	0	0	0	0	1	11		今井	佑二	-	-	-	-	0
12	×	幸崎	竜馬	16	4	2	0	4	12		相田	拓哉	-	-	-	-	0
13		植村	太一	-	-	-	-	0	13		斉藤	大寿	-	-	-	-	0
14	/	盛實	海翔	5	1	1	0	1	14	×	澤井	大輝	6	0	2	2	1
15		柴田	一真	-	-	-	-	0	15		渡邊	圭祐	-	-	-	-	0
16		大高	祐哉	-	-	-	-	0	16	/	後藤	耀平	6	2	0	0	0
17		長谷川	翔	-	-	-	-	0	17		斉藤	匠	-	-	-	-	0
18		藤原	健人	-	-	-	-	0	18		遠藤	佑恭	-	-	-	-	0
コーチ		佐藤	信長						コーチ		中屋	廣昭					
アコチ		柴田	直宏						アコチ		松田	慎也					
合計				75	6	27	3	16	合計				58	6	16	8	6

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。能代工は#5荒木がゴール下からのシュートで先制。新潟商は#6渡邊(大)が3Pを決めて入れ返す。序盤、両チームともシュートミスが目立ち思うように加点することができない。残り5分過ぎから能代工は、#4長谷川のドライブ、#5荒木のインサイドを中心に得点し、新潟商は#5原の速攻、#4田中のドライブで応戦、15-14と能代工1点リードで終了。

2Q出だし、能代工#14盛實が3P、#5荒木が速攻を決めたところで新潟商がたまたずタイムアウト。新潟商は#9渡邊(浩)、#6渡邊(大)らが高さを生かしたプレーで点差を詰める。一方、能代工は#4長谷川がジャンプシュートを決めていくが後が続かず、残り3:40、28-28と新潟商がついに追いつく。能代工は#9小室の3Pをきっかけに再びリードし、35-28となったところで新潟商2回目のタイムアウト。37-33と能代工4点リードで折り返す。

3Q、新潟商が#5原の連続シュートや#6渡邊(大)のフリースローなどで逆転に成功、37-39とする。能代工は#12幸崎が3Pを決めて再度逆転すると、#4長谷川と#12幸崎がアウトサイドから次々とシュートを決め、52-44と引き離す。新潟商は終了間際にフリースローなどで加点し、52-48と能代工4点リードで終了。

4Q、能代工は、ハーフコートプレスから相手のミスを誘う。#12幸崎、#9小室らが、ドライブからシュートを決めて、ゲームを優位に進める。新潟商はアウトサイドからのシュートを単発で決めるのが精一杯となり、残り3分で67-56となったところで新潟商がタイムアウト。その後も能代工は#5荒木、#6中村がゴール下で確実にシュートを決め、75-68で勝利した。